

さぼサポ



第9号

札幌市自立支援協議会就労支援推進部会

発行日：令和5年3月31日

年間日程

- 5月 札幌職リハ連絡会議（第1回）
- 7月 就労支援推進部会定例会・学習会
- 10月 発達障がい傾向のある大学生の就労支援ワークショップ

- 11月 JC-NET発達障がい就労支援セミナー
- 1月 札幌職リハ連絡会議（第2回）さぼコン（第1回）
- 2月 さぼコン（第2回）

札幌職リハ連絡会議

異動・退職などで担当者が代わる度に、相互機関の機能・役割・連携方法など、ゼロからの相互理解・関係性再構築が必要な状況が続いたため、2018年度より「札幌職リハ連絡会議」を年2回継続実施しています。

札幌市内の職業リハビリテーション機関（ハローワーク3所、北海道障害者職業センター、ナカボツ5所）と、行政機関（北海道労働局職業対策課、札幌市障がい福祉課）の11機関で参集（コロナ禍以降オンライン）し、各機関体制や新たな事業等の情報共有、ハローワーク管轄ごとの就労支援機関連携、地域課題解消に向けた協議等を行っています。

今年度第1回（5月31日）では、障がい者の採用募集・雇用継続について、就労支援機関利用必須と条件を付す企業が増加している課題（障がい者差別の懸念等）の対応方法等を協議しました。第2回（1月30日）では、「次年度以降も顔の見える連携体制の継続」を確認しています。

文/たすく 松本

就労支援推進部会定例会・学習会

令和4年度就労支援推進部会定例会・学習会は、7月5日に昨年度同様、オンラインで開催し、67名の方々にご参加いただきました。

定例会では、本部会から昨年度の活動内容と今年度の活動計画、札幌市から就業・生活相談支援事業の実績と虐待に関して報告いたしました。

その後の学習会では、「就労継続支援B型での就労支援」をテーマに、埼玉県にある就労継続支援B型事業所ななさと管理者千野康一氏をお招きし、講演、グループワークを行いました。参加者からは、B型事業所における就労支援の実例を知ることによって今後の支援を考える機会になった、グループワークで各事業所の支援内容や課題を共有することで横の繋がりを作るきっかけになったといった意見があり、有意義な学習会になったと思います。

今後も就労支援推進部会では、札幌市における障がいのある方の就労支援の質が向上していくよう、様々な活動を行ってまいりますので、今後ともご協力のほどよろしく願っています。

文/しんさつぼろ 荒井

発達障がい傾向のある大学生の就労支援ワークショップ

今年度も、発達障がいの傾向がある大学生向け就労支援ワークショップを10月28日にオンラインで開催しました。

今年度は『学内支援から就労支援へ』をテーマに、大学関係者の方々30名程がご参加下さいました。当日は、酪農学園大学学生相談室の相談員さんより、様々なタイプの発達障害学生への対応についてお話をいただき、就労移行支援事業所ばすとらるさんからは、大学在籍時に就労準備支援プログラムに参加し、現在訓練に前向きに取り組む利用者の様子についてご報告をいただき、参加者からは具体的なお話が有意義であったと大変好評でした。発達障害学生への支援は大学だけで完結させていくことは難しく、福祉や企業など周囲の関係機関との連携が不可欠だと思います。

来年度は、参加の対象を大学関係者に限定せず開催することも検討しており、またご案内させていただけたらと思います。

文/おがる 塚本

JC-NET発達障がい就労支援セミナー

11月11日にJC-NET発達障がい就労支援セミナーをオンラインで開催しました。

本研修は、発達障がいのある方の障がい特性や職業的課題に対する支援の基礎的な理解を深め、就労支援を円滑に行うことを目的とし、NPO法人ジョブコーチ・ネットワークとの共催で実施しています。

研修は、基礎講座と事例検討を行い、基礎講座では「発達障がいの特性と職業的課題」「発達障がいの認知特性」について広島県・愛知県講師の方にお話ししていただきました。

当日は、55名の方にご参加いただき、「基礎講座や事例検討で学んだことを通し、日々の支援について振り返ることができた」、「他の方の意見を聞く機会が少ないため、他の方の意見を聞く機会が必要だ」という感想が多くありました。いただいた感想は今後にも生かし、より良い研修を開催できたらと思います。

ご参加いただいた皆さまありがとうございました。今後も障がいのある方の就労支援について一緒に考えていけたらと思います。

文/とねっと 大野



部会の情報は
こちらから！



新時代の「体験型」就労支援?!

多機能型事業所ワークス翔

今回伺ったのは、地下鉄東豊線栄町駅から徒歩5分にある社会福祉法人愛和福祉会が運営する多機能型事業所ワークス翔さんです。

就労移行支援では、一般企業への就労を目指し、安定して「働き続ける」ために必要な準備や訓練をしています。ピックアップトレーニングやシール貼り・袋折・箱折などの下請負作業や、施設外就労なども行ない、就労を見据えた実践的な就職準備をしています。活動した内容に応じて工賃も支給されます（2021年度実績 月額平均10,739円）。

作業活動のほか、プログラムも多彩で、社会人として求められるマナーやスキルの講義のほかに、VRを使ったSST・グループワークもされています。VRを体験してみました。とてもリアルな画像でした。「仕事で困ったとき誰に聞かか」なども画像で見られて、実際の仕事場で活用できそうです。履歴書・面接対策・企業見学・実習など本格的な求職活動支援をされています。

また、就職後も仕事に適應するため、職場訪問やお勤め先との連絡調整もあり、ジョブコーチも在籍しています。就職6か月後からは就労定着支援事業のフォローアップがあり、「働き続ける」ことを見据えた事業所さんでした。同じ敷地には就労継続支援B型事業所も併設されていました。静かで落ち着いた環境で生活面から細やかに対応しますとのこと。見学・体験など事前申し込みの上、ご相談ください。



住所：札幌市東区北42条東18丁目3-1
TEL：011-776-7158 / FAX：011-776-7257
相談対応時間：平日9:00～17:00
<https://www.aiwa-f.or.jp/workskakeru/ikou.html>
定員：就労移行支援20名/就労継続支援B型20名
スタッフ：16名（社会福祉士・介護福祉士・ジョブコーチ）



- 作業訓練・トレーニング（施設内・外での作業を通じた得意・苦手把握）
- 就労プログラム（ビジネスマナー・就職活動の知識・VRを使用したSST、グループワークなど）
- 職場実習（小売業・物流倉庫・食品加工場ほか）
- 求職活動（ハローワーク同行・面接練習・応募書類作成支援・面接同行・職場開拓など）
- 就職/職場定着（関連機関との連携や職場訪問・企業との連絡調整など）

取材/とらいわーく 菱谷・しんさっぽろ 荒井

さ
ぽ
こ
ん

昨年度に引き続き、今年度もオンラインで2回「さぽコン～若手支援者の意見を聴く会」を開催することが出来ました。昨今の研修機会が少ない状況を考慮し、今年度は就労支援経験年数を昨年度まで3年だったところを5年まで範囲を広げて参加者を募った結果、1月17日に開催した1回目には15名が、2月14日に開催した2回目には20名が参加されました。

1回目は年齢層によりグループを分け、2回目は事業所種別毎にグループを分けて実施。いずれも活発な意見交換がなされておりましたが、特に2回目は悩みや聞きたい内容に共通点が多かったようで、より盛り上がりを見せていました。

参加者の感想から、時間が足りなかった、もっと発言したかったといった感想が出てきており、それだけ多くの意見交換がなされた証と思うと、参加していただいた意義があったのではないかと感じました。参加者同士で連絡先を交換された方もおり、さぽコンの目的のひとつである横の繋がりを作る役割も担えたのではないかと思います。

社会情勢を考えるとオンラインの気軽さがメリットに感じられますが、来年度こそ参集しての開催が出来ることを願っています。



文/たすく 北

札幌市からのお知らせ

「障がい者元気スキルアップ事業」

本事業は、障がいのある方の雇用機会の拡充、就職後の職場定着率の向上を目的として、就職に向けた相談や各種セミナー、職場実習、職業紹介、職場開拓を行っています。

これから就職活動を始める当事者の方、障がい者雇用これから取り組む企業の方は、是非、本事業をご利用ください。（※利用料無料、事前予約必要）

詳細については、下記の事務局までお問い合わせください。

セミナーの概要

- 障がいのある方向け：コミュニケーションの基礎、仕事のマナー、履歴書作成や面接のポイント等
- 障がい福祉サービス事業所向け：コミュニケーション、マナー、電話対応、名刺交換、応募書類作成のポイント、面接の基本とロールプレイング等
- 企業向け：障がい者雇用（採用の進め方や雇用管理等）に関する情報提供

元気スキルアップ事業事務局（運営：キャリアバンク株式会社）

住所：札幌市中央区北5条西5丁目7番地

電話：011-251-0130 電話受付時間 9時00分～18時00分（月曜日から金曜日、土日祝日休み）

